

作成日 2013年10月28日
改訂日 年 月 日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|--------------|---|
| 化学物質等の名称 | KH Over Coating solution |
| 製品コード | |
| 整理番号 | 20111028-2 |
| 製造元 | 会社名 KH CHEMICALS Co., LTD. 住所 #Ga-4-4/5、Gangnung Science Valley, Daejeon-Dong, Gangnung-City, Gangwon-Do KOREA 210340 |
| 輸入販売 | 会社名 巴工業株式会社 住所 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 担当部門 化成品部 電話番号 03-5435-6518(化成品部) 緊急時の電話番号 03-5435-6511(代表) FAX番号 03-5435-0071 メールアドレス |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 工業薬品 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|--|--|
| 物理化学的危険性 | 火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス類 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質 | 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分2 分類対象外 分類できない 区分外 分類対象外 分類できない 区分外 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん) 急性毒性(吸入:ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 | 区分外 分類できない 分類対象外 区分外 分類対象外 分類できない 区分外 区分3 区分2B 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1A |

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)
区分2(中枢神経系)

| | | |
|-----------|-----------|--------|
| 環境に対する有害性 | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性の高い液体および蒸気
軽度の皮膚刺激
眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気やめまいのおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の損傷
長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系の損傷のおそれ

注意書き

【安全対策】
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。ー禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
蒸気/ミスト/スプレーの吸入を避けること。
取扱後は、手をよく洗うこと。
使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
適切な個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
【応急措置】
火災の場合:適切な消火方法をとること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続くときは、医師の診断/手当を受けること。
皮膚(または髪)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報

—

3. 組成及び成分情報

| | |
|------------------------|------------------------------|
| 化学物質・混合物の区別: | 混合物 |
| 一般名 | KH OC(Over Coating) solution |
| 成分 | エタノール 無機物 |
| CAS番号: | エタノール : 64-17-5 無機物 : 非公開 |
| 官報公示整理番号(化審法・ 安衛法) | エタノール : 2-202 無機物 : 非公開 |
| 濃度又は濃度範囲 (%) | 非公開 |
| 分類に寄与する不純物及び 安定化添加物 | データなし |

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。特別な処置は要らないが、多量に飲み込んだときは、水を飲ませて、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入: 咳、咽頭痛、呼吸器への刺激、眠気、麻酔性。

眼: 発赤、痛み、灼熱感。

経口摂取: のどの痛み、胃腸の痛み、頭痛、錯乱、意識喪失

最も重要な兆候及び症状

応急措置をする者の保護

医師に対する特別注意事項

データなし

データなし

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

棒状放水、泡消火剤

火災によって刺激性、有害のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具および
緊急措置**

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項
回収・中和

環境中に放出してはならない。
砂、土等、不燃性吸着剤に吸着させ、ふたが密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

情報なし
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
皮膚との接触を避けること。
蒸気、ミスト、ガスの吸入を避けること。
眼に入れないこと。

保管 接触回避
技術的対策
混触危険物質
保管条件

データなし
火気厳禁
強酸化剤
容器を密閉して換気の良い冷乾所にて保存すること。
施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

設定されていない。

日本産衛学会(2012年)
ACGIH(2010年)

設定されていない。

設備対策

TLV--TWA 1000ppm(エタノール)
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具 呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

排気設備もしくは局所排気を用いること。
換気が不十分の場合、呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
保護めがねや保護面などの保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状
色
臭い
pH

液体
無色透明
アルコール臭
酸性

融点・凝固点
沸点、初留点及び沸騰範囲
引火点
自然発火温度
燃焼性(固体、ガス)
爆発範囲
蒸気圧
蒸気密度
蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし
データなし
12 °C
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

| | |
|---------------------|---|
| 比重(密度) | 約 0.8 |
| 溶解度 | 水に易溶 |
| オクタノール・水分配係数 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | データなし |
| 粉じん爆発下限濃度 | データなし |
| 最小発火エネルギー | データなし |
| 体積抵抗率(導電率) | データなし |
| 10. 安定性及び反応性 | |
| 安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる |
| 危険有害反応可能性 | 加熱もしくは燃焼すると、有害な炭酸ガス、一酸化炭素ガスを生じる。 |
| 避けるべき条件 | 極端な加熱、裸火、発火源 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤、還元剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 一酸化炭素、二酸化炭素 |
| 11. 有害性情報 | |
| 急性毒性 経口 | ラット: LD50=7060 mg/kg 以上のデータに基づき区分外とした。 |
| 経皮吸入 | データなし |
| | 吸入(ガス): GHSの定義による固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。 |
| | 吸入(蒸気): ラット: LD50=20000 ppm/10H 以上のデータに基づき区分外とした。 |
| | 吸入(粉じん): データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | データはないが、軽度の皮膚刺激のおそれとの記載により区分3とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | データはないが、眼刺激のおそれとの記載により区分2Bとした。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データ不足により分類できない。 |
| 発がん性 | データがないため、分類できない。 |
| 生殖毒性 | エタノールの多量摂取により人胎児に悪影響とのデータが多数報告されているため、区分1Aとした。 |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 吸入すると気道を刺激するおそれがあるとの記載に基づき、区分3(気道刺激性)とし、アルコールの酩酊作用に基づき区分3(麻酔作用)とした。 |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | エタノールの多量摂取により殆どの内臓を痛めるが特に肝臓を損傷するとの多数の報告書に基づき区分1とし、中毒により中枢神経系を損傷するとの報告書に基づき区分2とした。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし |
| 12. 環境影響情報 | |
| 水生環境急性有害性 | データなし |
| 水生環境慢性有害性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |
| 13. 廃棄上の注意 | |
| 残余廃棄物 | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 |
| | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |

14. 輸送上の注意

| | | |
|-------------|---------------------|--|
| 国際規制 | 海上規制情報 | IMOの規定に従う。 |
| | 航空規制情報 | ICAO/IATAの規定に従う。 |
| | UNNo. | 1170 |
| | ProperShippingName. | ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) or ETHANOL SOLUTION |
| | Class | 3 (引火性液体) |
| | Packing Group | II |
| | Marine Pollutant | 非該当 |
| 国内規制 | 陸上規制情報 | 消防法に従う |
| | 海上規制情報 | 船舶安全法に従う |
| | 航空規制情報 | 航空法に従う |
| 特別安全対策 | | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。移送時、イエローカードの携帯が必要。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | 127 |

15. 適用法令

| | |
|---------------------------|--------------------------|
| 消防法 | 危険物 第四類アルコール類 水溶性 危険等級II |
| 労働安全衛生法 | |
| 安衛法通知有害物 危険物 | 61: エタノール 引火性の物 |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) | 非該当 |
| 船舶安全法 | 危規則 引火性液体類 |
| 海洋汚染防止法 | 有害液体物質 Z類 |
| 航空法 | 施行規則 引火性液体類 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |

16. その他の情報

| | |
|------|--|
| 連絡先 | 巴工業株式会社 |
| 参考文献 | NITE GHS分類公表データ EU CLP Regulation, AnnexVI 安全データシート (安全衛生センター) JIS Z 7253:2012 RTECS(2008) KH Chemical Corp, 製品MSDS(2012/9/12) 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。 |